

**全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会参加自治体の
食品ロス削減推進計画策定状況**

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
北海道	—	○		R12 R5	食品ロス量 26万トン 食品ロス削減のための道民の行動割合 家庭 80% 外食時 80%
	札幌市		○		
	函館市		○		【モニタリング指標値】 R4家庭系食品ロス排出量（推計値） 年間4,202t 市民1人1日当たり47g R5事業系食品ロス排出量（推計値） 年間5,889t 事業系1日当たり16t
	室蘭市		○		
	江別市	○			
青森県	—		○	R12	・令和12年度の一般廃棄物における可燃ごみ中の未使用食品と食べ残しの割合の合計を、令和元年度比で半減させる。 ・令和12年度までに、食品ロス問題を認知してその削減に取り組む県民の割合を80%とする。
	弘前市	○			
	八戸市		○		
岩手県	—	○		R12	食品ロス発生量：18%削減（H30年度比） 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：90%
	盛岡市		○	R8	食品ロス発生量：令和2年度比で9.3%（約554t）削減
宮城県	—	○		R12	家庭系食品ロス・3.2万トン 事業系食品ロス・3.8万トン
	仙台市		○		
秋田県	—	○		R12	食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：100% 食品ロスを削減する取組の平均実施率：50% 県民1人1日当たりの家庭系食品ロスの発生量：80g 事業系食品ロスの発生量：1.8万トン
	秋田市	○		R12	・一人1日当たり家庭系食品ロス 60.0g ・事業系食品ロス 3,200t
	能代市		○	—	—
	湯沢市		○		
山形県	—		○	R12	家庭系食品ロス発生量：18千トン
福島県	—	○		R12	食品ロス発生量：60,600トン 食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む県民の割合：80%
茨城県	—		○		
	水戸市	○		R15	2033年度までに2021年度比で食品ロス発生量を10%以上削減

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
栃木県	一	○			
	宇都宮市		○		
	足利市		○		
	鹿沼市		○		
	日光市		○	R9	食品ロス発生量 3,875t以下
群馬県	一		○	R12	・食品ロス発生量7.7万トン ・食べきり協力店登録数1000店舗 ・フードバンクの人口カバー率100%
	館林市		○	R14	食品ロス量：2,999トン/年 120g/人・日
	渋川市	○		R14	2032年度までに2019年度比40%削減 (目標値：3,877t→2,326t)
埼玉県	一		○		
	さいたま市		○	R9	家庭系食品ロス排出量6,929トン
	所沢市		○		
	東松山市		○	R12	削減目標6g/人・日
	越谷市		○	R12	食品ロス量：6千トン
	朝霞市		○	R10	食品ロス量：1,506トン/年 ※令和4年度実績に対して35%削減
	八潮市		○		
千葉県	一		○	—	—
	千葉市		○	R14	家庭系食品ロス量：2,900トン (8.3g/人・日) 事業系食品ロス量：8,200トン
	船橋市		○	R13	家庭系： 【手つかず食品と食べ残しの発生量】 6,125 t 【厨芥類のうち手つかず食品と食べ残しの割合】15.8% 事業系： 【手つかず食品と食べ残しの発生量】 6,851 t 【厨芥類のうち手つかず食品と食べ残しの割合】42.1%
	八千代市		○		
	我孫子市		○		
	鎌ヶ谷市		○		
	君津市		○	R10 R15	食品ロス発生量 1,719 t 食品ロス発生量 1,546 t
	浦安市		○		
	四街道市		○	R7	1人1日あたり食品ロス発生量：約29 g
	袖ヶ浦市		○		
東京都	一	○			
	港区		○		
	新宿区		○		
	文京区		○		
	台東区		○		
	江東区		○		

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
東京都	目黒区		○	R15	<ul style="list-style-type: none"> 「1ヶ月の間に食品（食材）を捨てたことはまったくなかった」区民の割合：40% 「食品ロスに関してとても意識している」区民の割合：60% 「食品ロスを出さないために普段行っていることとして、必要な分だけ買う」区民の割合：85% 「食品ロスを出さないために普段行っていることとして、飲食店では食べきれる量を注文する」区民の割合：70%
	大田区		○	R12	2030年までに家庭系食品ロスの削減率と事業系食品ロス量の削減率を31%減（2021年と対比）
	世田谷区	○		R12	2030年度までに2000年度比半減 家庭系目標値：15,400t→7,700t 事業系目標値：25,600t→12,800t
	中野区	○		R12	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスの量：1,961トン減 「食べ物を無駄にしないようにしている」区民の割合：90%
	杉並区		○	R12	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみにおける食品ロス：1,600t 食品ロス削減に協力する店舗数：1,900店舗
	豊島区		○		
	北区		○	R16	区民1人1日あたりの食品ロス発生量・25.8g
	荒川区		○	R14	食品ロス発生量：令和14年度までに区民1人1日当たり令和3年度比で4.5g削減
	足立区		○	R12	食品ロス量を令和12年度までに、令和元年度比で21.6%減
	葛飾区		○	—	—
	江戸川区	○			
	八王子市		○	R15	【目標項目】 食品ロス焼却量 【目標値】 10,000トン/年
	武蔵野市		○	R14	食品ロス量を令和14年度までに、平成30年度比で19.2%減
	昭島市		○		
	小平市		○		
	武藏村山市		○	R9	食品ロス量を令和9年度までに、令和5年度比で4%減
神奈川県	一	○		R12	<ul style="list-style-type: none"> 県民1人1日当たりの家庭系食品ロス量46g 県内で発生する事業系食品ロス量22.1万トン
	横浜市		○	R12	—
	相模原市		○	R9	家庭からの食品ロス排出量：7,900t以下
	横須賀市		○	R11	家庭形食品ロス量：6,934トン（年間）
	鎌倉市		○		
	厚木市	○		R8	家庭系食品ロス量（市民一人当たり）：70グラム 事業系食品ロス量：3,628トン

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
新潟県	—	○		R12	食品ロス量：7.3万トン以下 食品ロス問題を認知して複数の取組を実践する県民の割合：9割
	新潟市		○	R12	食品ロス量：21,400トン
	長岡市		○	R12	家庭系食品ロス量：3,075トン以下 食品ロス問題を認知して複数の取組を実践する市民の割合：9割超
	小千谷市		○		
	妙高市		○		
	佐渡市		○		
富山県	—	○		R12	県民1人1日当たりの食品ロス量：約78g 食品ロス削減のための取組みを行っている人の割合：90%以上
	富山市		○		
石川県	—		○	R7	美味しいいしかわ食べきり協力店：1,650店舗登録
	金沢市	○		R12	食品ロス量：17,400トン
	小松市	○			
福井県	—		○	R7	食品ロス量：28千トン 食品ロス削減に取り組む人の割合：85.0%
	福井市		○	R10	市民1人1日あたりの食品廃棄物排出量：148g（うち食品ロス排出量：30g）
	小浜市		○	R15	食品ロスの発生量：55g/人日
	大野市		○	R12	食品ロスの発生量：627.2トン
	南越前町		○		
山梨県	—		○		
	北杜市		○		
長野県	—		○	R7	・家庭での食品ロス削減の呼び掛けを行っている市町村数：77市町村 ・外食での食品ロス削減の呼び掛けを行っている市町村数：77市町村 ・フードドライブに関する取組を行っている市町村数：52市町村 ・家庭から排出される食品廃棄物に占める食品ロスの割合を調査したことがある市町村数：14市町村 ・食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店舗数：新規登録200店舗
	長野市		○	R8	家庭系食品ロス量 27.0 g／人・日
	松本市	○		R12	市内食品ロス量：7,244トン
	須坂市		○		
	駒ヶ根市		○		
	軽井沢町		○		

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
岐阜県	—	○		R12	食品ロス発生量：53,200トン 食品ロスの削減に取り組む県民の割合：100%
	高山市		○		
	関市		○		
	郡上市		○	R12	食品ロス発生量：779トン 食品ロスの削減のための取り組みを3つ以上実践する市民の割合：100%
静岡県	—		○		
	静岡市		○	—	—
	浜松市		○		
	富士宮市	○		—	生ごみの総排出量2,450トン以下
	富士市		○		
	掛川市		○		
	藤枝市		○	R12	家庭から出る食品ロス量：903トン
	袋井市		○	R12	令和2年度比1人1日あたりの食品ロス量：20%削減
	伊豆の国市	○		R13	家庭系食品ロス量：578トン以下 市民によるてまえどり実施率：40%以上
	森町		○	—	—
愛知県	—		○	R8	食品ロス量：433千トン 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：85.0%
	名古屋市		○	R12	食品ロス削減目標 R12年度までに家庭系及び事業系5%削減（R4年度比）
	一宮市		○	R12	家庭系食品ロス量：6,824トン 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：100%
	刈谷市		○	R17	家庭系食品ロス量：2,459トン 事業系食品ロス量：2,095トン 市民意識「ほとんど食品ロスを出さない」人の割合：50.0%
	豊田市		○	—	—
三重県	—		○	R7	R3年度（R2年度推計）に対して家庭系及び事業系10%減
	津市		○		
	四日市市		○		
	伊勢市		○		—
	名張市		○		
滋賀県	—	○		R7	家庭系食品ロス年間発生量：2.5万トン 事業系食品ロス年間発生量：11,730トン 食品ロス問題の認知度：90% 食品ロス削減の取組を実践している消費者の割合：80% 食品ロス削減の取組を実践している事業者の割合：「三方よしフードエコ推奨店」登録店舗数300店舗 フードバンク認知度：80%
	近江八幡市	○		R13	本市の食品ロス量：1350t 令和元年度比1人1日あたりの食品ロス量15g削減
	甲良町		○		

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
京都府	—	○		R12	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス量：9.4万トン ・複数の食品ロス削減の取組を行う消費者の割合：90%以上 ・フードバンク活動の認知度：75% ・地域で食品ロスの知識等を広める人材の育成：100人 ・食品ロス削減推進計画の策定・取組を実施する市町村数：全市町村 ・食べ残しゼロ推進店舗の登録店舗割合：11%
	京都市		○	R12	食品ロス量：4.6万トン 市民1人1日当たり：87グラム
大阪府	—	○		R12	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年度比で食品ロス量の半減(32.7万t) ・食品ロス削減のための複数(2項目以上)の取組を行う府民の割合を90%
	大阪市		○	R7	平成12年度比で半減 家庭系食品ロス 6万t → 3万t 事業系食品ロス 18万t → 9万t
	堺市		○	R12	食品ロス量：24,200t
	豊中市		○	9	食品ロス量1人1日当たり量108.8g /人・日(必達)、94.7g(高位目標)
	吹田市		○	R10	食品ロス発生量：10.2千t うち家庭系：6.2千t うち事業系：4.0千t 平成12年度比：50%減
	茨木市		○	R7	家庭系食品ロス量：4,226t(基準年度(R2年度)から13%削減)※事業系においても同様の削減割合を努力目標とする。 食品ロス削減(2項目以上)に取り組む市民の割合：家庭での取組90%、外食時での取組70%
	摂津市		○		
	東大阪市	○		R12	食品ロス量：22千トン 食品ロス削減の取り組みを行う人の割合：90.0%以上
	阪南市		○		
	熊取町		○		
兵庫県	—		○		
	神戸市		○	R7	家庭系食品ロス：令和7年度までに平成25年度比でごみ排出量を10%削減することを目標としており、1人1日あたり排出量の半減(H25 33g/人・日 → R7 17g/人・日)を目安として掲げている。 事業系食品ロス：令和7年度までに平成25年度比でごみ排出量を10%削減することを目標としており、食品ロスを含む厨芥類を減量・資源化の主なターゲットとして掲げている。
	姫路市		○	R14	未開封・未利用食品の割合をR3年度比で25%削減
	尼崎市		○	R12	食品ロス量：24% (19g/人・日) 削減
	西宮市		○		
	三田市		○		

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
奈良県	—	○		R6	食品ロス問題を「よく知っている」県民の割合：90%
	生駒市		○		
	大淀町		○		
和歌山県	—		○	R7	家庭から排出される食品廃棄物に占める食品ロスの割合の調査を実施したことがある市町村数：10市町村
鳥取県	—		○	R10	食品ロス発生量 15,000トン／年 1人1日当たりの食品ロス量 80g／人・日
	米子市		○		
島根県	—		○		
岡山県	—		○	R7	家庭系食品ロス量：33千トン、事業系食品ロス量：86千トン 食品ロス削減に取り組む消費者の割合：80%以上
	岡山市		○	R7	食品ロスの削減・27, 512 t /年
	倉敷市	○			
	玉野市		○		
	笠岡市		○	R9	R4年度(2022年度)見込値の49.0g/人・日からR9年度(2027年度)に31.8g/人・日 (R4年度推計値比35%削減)
	里庄町		○		
広島県	—	○			
	広島市		○		
山口県	—		○	R12	家庭系食品ロス量：2.6万トン 事業系食品ロス量：3.3万トン
	宇部市		○	13	家庭系食品ロス量・約2,000 t、事業系食品ロス量・約1800 t
	山口市		○		
	防府市		○	R8 R13	家庭系食品ロス量：730 t 以下 家庭系食品ロス量：680 t 以下
	岩国市		○		
	長門市		○		
	周南市		○	R16	家庭系食品ロス：調理くず10%削減 (10.5g/人・日)、手つかず食品25%削減 (7.8g/人・日)、食べ残し25%削減 (5.1g/人・日)
徳島県	—		○		
	小松島市		○		
	阿南市		○		
	石井町		○		
香川県	—	○			
	高松市	○			

都道府県名	市区町村名	策定状況		指標	
		単独計画を策定	他の計画に位置付けて策定	目標年度	目標項目・目標値
愛媛県	一	○		R7	R2年度比で食品ロス量の10%削減 (5.1万トンから4.6万トン)
	松山市	○		2030	2030年度までに、2000年度比で食品ロス量の半減以上 (2.9万トンから1.4万トンに削減)
	宇和島市	○		R8	食品ロス発生量 (家庭系、事業系) : 2,150t 家庭系食品ロス発生量 : 1,155t 事業系食品ロス発生量 : 995t 市の災害備蓄食料の活用率 : 100%から継続 食品ロス削減に取組む市民の割合 : 80% 生ごみ処理機等設置費補助金申請者数 : 基準年(2020年)同等以上継続
	八幡浜市		○		
	新居浜市	○		2030	2017年度比で家庭系食品ロス量の22%削減 (2,086トンから1,627トンへ削減)
	西条市		○		
	大洲市		○		
	西予市		○		
高知県	一	○			
福岡県	一	○		R8	食品ロス量 : 20.5万トン 食品ロス削減に取り組む人の割合 : 70%
	北九州市		○	R12	・食品ロス量 : 2000年度比で半減 (24,876 t以下) ・食品ロス削減に取り組む人の割合 : 80%以上
	福岡市		○		
	筑後市		○		
佐賀県	一		○	R7	・食品ロスを意識して食品ロスの削減に取り組む人の割合 : 80% ・家庭から排出される県民1人1日あたりの食品ロス量(推計値) : 減らす ・九州食べきり協力店・応援店登録数 : 増やす ・市町における食品ロス削減推進計画策定率 : 100%
長崎県	一	○			
熊本県	一	○			
	熊本市		○	R12	H12の食品ロス発生量 (57,326t)から半減
	八代市		○	R9	家庭系食品ロス発生量 : 2,032 t以下 食品ロス削減に取り組んでいる人の割合 : 90%以上
大分県	一		○	R12	県内の食品ロス量を2030年度に2000年度比で半減 家庭系食品ロス量 : 23,762t 事業系食品ロス量 : 20,111t
	大分市	○		R12	市内の食品ロス量を2030年度に2000年度比で半減 2030 (R12) : 18,177t
宮崎県	一		○	R12	食品ロス (家庭系) 17,700 t 食品ロス (事業系) 23,000 t
鹿児島県	日向市		○		
	一		○	R7	食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合 : 80%
沖縄県	一	○			